

## 世界規模のリバイバルのための戦略的提携

2008年6月16日 アシエル・イントレーター

終わりの日々に、イエシュア(イエス)の再臨に至る大いなるリバイバルが起こることを私たちは信じています。「その日、わたしは、しもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ。」(使徒 2:17、ヨエル 2:29)また、主は、この世界規模のリバイバル促進を支援するために、戦略的提携を構築しておられることを私たちは信じています。

メシアニック・ジューとして、この大いなるリバイバルと、これらの戦略的提携に関わる前に、私たちは「大宣教命令」を受け取り、自分のものとして取り入れなければなりません。「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」(使徒 1:8)メシアニック・ジューとして私たちが担う部分は、ユダヤ文化を再構築することであり、世界宣教への大命令は私たちに適用されない、とすることはできません。

今年リバイブ・イスラエル/ティックーンの私たちのチームは、日本、中国、インド、アフリカ、西ヨーロッパ、東ヨーロッパ、トルコ、パレスチナ自治区へ宣教師を派遣しました。(それはもちろん、私たちの最初のエルサレムとユダヤに対する召命、すなわち地元での宣教、弟子訓練、イスラエルでの教会設立に加えた活動です。)これらの活動に対して心を広げ、愛(II コリント 6:11、7:2)、祈り、信仰、寛容、そして運営(ローマ 10:15)が必要となります。私たちはメシアニック・ジューとして、私たちの「選び」は地上すべての国々に対する祝福となること(創世記 12:3)、この祝福とは世界中の人々に福音を分かち合うことなのです。

しかし、一人だけでは大宣教命令を成就させることはできません。協力とチームワークが必要です。私たちリバイブ・イスラエルは、この現代において主が一つにして下さる戦略的提携の一部分を担いたいと思います。一つの例として、IHOP(マイク・ビックル師)、ザ・コール(ルー・エンゲル師、チェ・アン師)そして God-TV(ローリィとウエンディ・アレク師)とのネットワーク関係です。先月(5月)「ザ・コール、エルサレム」において、私たちは彼らと一緒に奉仕できたことは光栄なことです。

ある人は、なぜそのような巨大な、かつ成功している団体が、リバイブ・イスラエルとどんな関係を持ちたいのかと尋ねられるでしょう。私が思うには、彼らは世界規模のリバイバルと宣教はイエシュアの再臨へと続くものであり、主の再臨は、大いなる霊的戦いのさなか、エルサレムで起こることを理解しているからです。それゆえ、これらの神の人々は、御国の目的とは、地元のイスラエル人メシアニック・ジューの使徒的な働きを行う団体と「契約的につながること」であると見ています。

この戦略的提携のもう一つの例として、最近の全ヨーロッパ・アグロー総会への参加が挙げられます。私たちはヨーロッパのリバイバルのために祈ってきましたが、私たちがどのようによい結果をもたらすことができるのかが、まだ見えていません。ヨーロッパ中のアグロー支部に大きな可能性を私たちは見出しています。ジェーン・ハンセン師やアグローの指導部は私たちと同様にヨーロッパのリバイバルのために祈っています。教会にある反ユダヤ主義の根があるからこそ、ヨーロッパにおいてメシアニック・ジューの宣教チームと活動を共にする必要があると彼らは信じています。

それゆえ、先週ユヴァルと私はスペインに行ってこの総会に参加しました。総会にはヨーロッパ 22ヶ国のアグローの代表者が参加しました。私たちのただ一つの願いは、彼女たちの国々にリバイバルをもたらすために聖霊の力により励まされ、力が与えられることです。全ヨーロッパに福音が最初にもたらされたのは、一つの集会(使徒 16)を基礎としています。その集会はリディアによって指導される小さな女性達の祈禱会とパウロ(サウロ)によって指導されるイスラエルからの小さな使徒チームでした。そのパターンに従って、今日、私たちは主に祈り、これらの素晴らしい姉妹たちと共に奉仕し、ヨーロッパ中に福音を述べ伝えるのです。

もう一つの主要な戦略的同盟は「シルクロード」と「イザヤ 19 章ハイウェイ」です。過去 20 年間、中国の地下教会で大いなるリバイバルが起こっています。主の大いなる御手により、中国の信者達は「エルサレムへ: Back to Jerusalem」と彼らが呼ぶ幻が与えられました。それは、中国人信者がアジア中に福音を述べ伝え(特にイスラム教徒、ヒンズー教徒、そして仏教徒)、そして福音を中近東とイスラエルに戻すというものです。

私たちは、中国の地下教会の指導者であるチェン師とヒュン兄と分かち合う機会がありました。年を経るごとにアジアのビジョンはより明確となり、今は多くの人により「シルクロード」と呼ばれています。それは、福音が自然に中国から中近東に延びる歴史的な商路を辿るというものです。多くの韓国人宣教師も同様にこのビジョンを取り入れました。この運動の主要な指導者の一人は、カザフタン共和国のアルマティにいる使徒サムスン・キム師です。

今週私たちはキム師と彼と組む中央アジアの 12 の国々からの指導者と会うことができました。私たちと共に、ミカエル・ケレム師も一緒にこの集会に加わってくれます。ミカエル師は「イザヤ 19 章ハイウェイ」ビジョン(イザヤ 19:23-25 は中近東のアラブ諸国でのリバイバル、またこれらの国々とイスラエルの和解を述べています。)の主要な指導者です。

リバイバルと和解は、アッシリアからエジプトまで、イスラエルを経由する霊的な「ハイウェイ」によって可能になるのです。このハイウェイはこれらすべての国々にいる真の信者たちのネットワーク関係です。このネットワーク、あるいは「ハイウェイ」はすでに形成され、主はイスラエルにいるメシアニック・ジューとこれらのイスラム教によって支配されている国々にいる真の信者たちとの間に、

戦略的關係を構築されています。シルクロードがイザヤ 19 章ハイウェイとしてつながるなら、世界を囲む福音の環がイスラエルで完成するのはもう目前です。

中近東のイスラム教国での**イザヤ 19 章**ビジョンは、最終的に**イザヤ 2 章**とつながらなければなりません。**イザヤ 2 章**は、終わりの日々にエルサレムに対する神のご計画は、エルサレムが世界宣教の中心地となることを述べています。「**終わりの日に、主の家の山は、山々の頂に堅く立ち、丘々よりもそびえ立ち、すべての国々がそこに流れて来る。多くの民が来て言う。『さあ、主の山、ヤコブの神の家の上ろう。主はご自分の道を、私たちに教えてください。私たちはその小道を歩もう。それは、シオンからみおしえが出、エルサレムから主のことばが出るからだ。』**」(イザヤ 2:2-3)

世界宣教の命令を完成させるため、主はエルサレムに主の御体の指導者たちを集められています。ここで私たちは第二次ペンテコステ、つまり**使徒 2 章**において 2000 年前エルサレムに注がれた同じ聖霊の火が再び降るとい**うビジョン**を世界中の指導者たちと分かち合います。今回は、リバイバルは全世界に及ぶのです。「すべての肉なるものに主の霊がそそがれる」同じ炎ではありますが、より規模が大きいのです。

使徒 1 章の大宣教命令が完成するよう、そして使徒 2 章のリバイバルの炎がすべての国々に広がることを私たちは祈ります。イスラエルのメシアニック・レムナント(残りの人々)の一部として、私たちは神の人々と戦略的提携を構築し、この終わりの日々に世界規模のリバイバルを推進するのです。どうか私たちに加わって下さい！